

# 「阿久和小学校・いずみ野小学校」 通学区域と学校規模適正化等 検討部会ニュース

第2号

発行日：令和3年8月27日  
発行元：「阿久和小学校・いずみ野小学校」  
通学区域と学校規模適正化等検討部会  
(事務局：横浜市教育委員会事務局学校計画課)  
第2回検討部会  
日時：令和3年7月8日(木)  
18時30分から  
会場：いずみ野中学校 被服室

## はじめに

現在、阿久和小学校は、一般学級数が6学級（小規模校）となっており、横浜市で最も児童数が少ない学校となっています。今後も小規模校の状態が継続していく見込みです。そのため、「『阿久和小学校・いずみ野小学校』通学区域と学校規模適正化等検討部会」において、隣接するいずみ野小学校との間で、阿久和小学校の適正規模化に向けて具体的に検討しており、4月27日に第1回検討部会、7月8日に第2回検討部会を開催しました。今後も、この検討部会での検討状況等については、本ニュースを発行し、保護者の皆様や両校の通学区域内にお住まいの皆様にお伝えしていきます。

## ●第2回検討部会の決定事項など●

- ・第1回検討部会で事務局から提示した検討事例を踏まえ、各所属団体の意見を報告しました。
- ・学校規模適正化の方向性を決めるにあたって、仮に統合する場合の統合時期及び通学区域の案や使用校舎のデータも参考に検討したいとの意見がありました。そのため、第3回検討部会では、それらに関する資料をもとに、引き続き、阿久和小学校の学校規模の適正化に向けた具体的な対応を審議することとしました。



## 1 阿久和小学校の学校規模の適正化に向けた検討事例

第1回検討部会では、通学区域を変更する場合の関係校における学校規模（一般学級の児童数、学級数）の推移等を示した3つの検討事例と、阿久和小学校といずみ野小学校を統合する場合の検討事例を事務局から提示しました。

第2回検討部会では、前回提示した4つの検討事例を踏まえ、各所属団体のご意見を伺い、具体的な対応を協議しました。

### 検討事例1

阿久和小学校の通学区域に、いずみ野小学校の通学区域のうち2ページ参考地図①部分を加えた場合

#### 児童数・一般学級数の推移（シミュレーション）

《令和4年度の新1年生から対象とした場合》

学校		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
阿久和小	児童数	69	73	78	90	116	129	131
	学級数	6	6	6	6	7	7	7
いずみ野小	児童数	313	312	299	280	249	240	220
	学級数	12	12	12	11	10	10	9

※R2は令和2年5月1日時点の実数値。R3以降はR2実数値を反映してシミュレーションした値。R7までに全学年35人学級とするものとしている。  
※網掛け部分は小規模校（小学校は一般学級数で11学級以下）となっていることを示している。  
※検討事例2～4についても同様。

#### 〈効果と課題〉

- ・阿久和小学校の児童数は若干名増えるが、適正規模にならない。
- ・いずみ野小学校の児童数が減少し、令和5年度には小規模校になる。
- ・阿久和小学校までの通学距離がいずみ野小学校までの通学距離よりも長くなる地域が一部存在する。

## 検討事例 2

阿久和小学校の通学区域に、原小学校の通学区域のうち参考地図②部分を加えた場合（②＝東海道新幹線以南の地域）

### 児童数・一般学級数の推移（シミュレーション）

《令和4年度の新1年生から対象とした場合》

学校		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
阿久和小	児童数	69	73	80	90	106	113	111
	学級数	6	6	6	6	6	6	6
原小	児童数	941	941	896	842	817	770	742
	学級数	29	26	25	25	25	25	25

### 〈効果と課題〉

- ・阿久和小学校の児童数は若干名増えるが、各学年単級の状況は変わらず、適正規模にならない。
- ・阿久和小学校までの通学距離が原小学校までの通学距離よりも長くなる地域が一部存在する。

## 検討事例 3

阿久和小学校の通学区域に、検討事例1と検討事例2を合わせた範囲（参考地図①+②部分）を加えた場合

### 児童数・一般学級数の推移（シミュレーション）

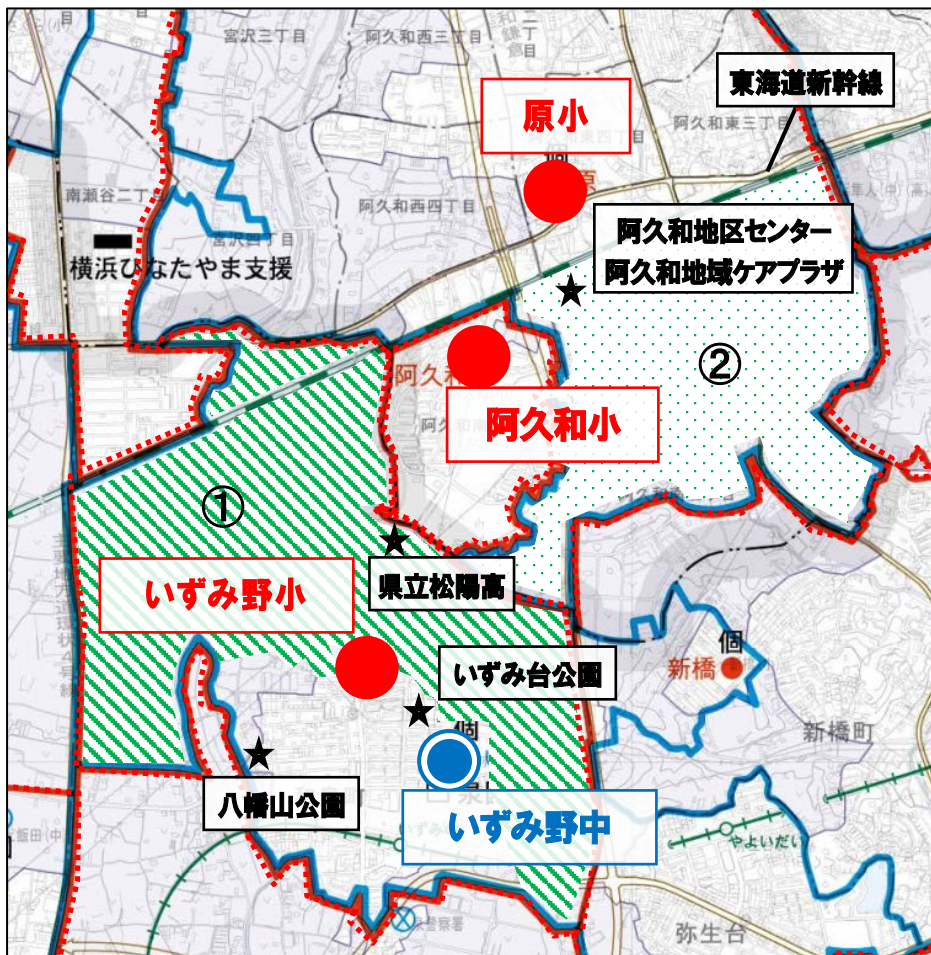
《令和4年度の新1年生から対象とした場合》

学校		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
阿久和小	児童数	69	73	90	107	145	165	173
	学級数	6	6	6	7	8	8	7
いずみ野小	児童数	313	312	299	280	249	240	220
	学級数	12	12	12	11	10	10	9
原小	児童数	941	941	896	842	817	770	742
	学級数	29	26	25	25	25	25	25

### 〈効果と課題〉

- ・阿久和小学校の児童数は若干名増えるが、適正規模にはならない。
- ・いずみ野小学校の児童数が減少し、令和5年度には小規模校になる。
- ・阿久和小学校までの通学距離がいずみ野小学校もしくは原小学校までの通学距離よりも長くなる地域が一部存在する。

## 〈検討事例1～3 参考地図〉



【凡例】	
小学校	●
中学校	●
小学校通学区域	.....
中学校通学区域	.....
対象区域①	▨
対象区域②	▨

## 検討事例 4

阿久和小学校といずみ野小学校を統合する場合

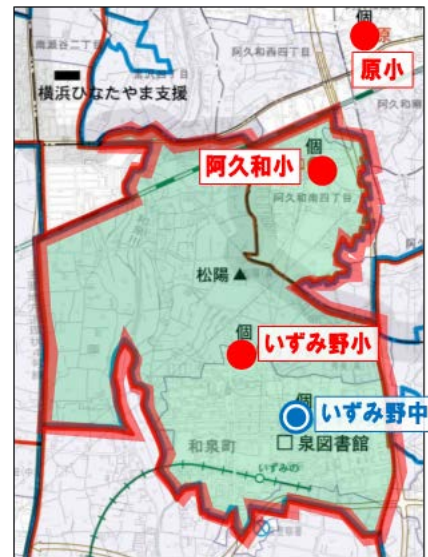
### 児童数・一般学級数の推移（シミュレーション）

《令和5年度に学校統合すると仮定して算出》

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
児童数	—	—	—	369	363	366	348
学級数	—	—	—	12	12	12	12

### 〈効果と課題〉

- ・ 統合校の学校規模が適正規模校となる。
- ・ 統合校の使用校舎や学校名の検討が必要となる。
- ・ 閉校する学校施設の跡利用の検討が必要となる。
- ・ 学校統合に伴い、通学距離が長くなる地域が生じる。
- ・ 学校統合に向けて、児童等の交流などの準備期間が必要となる。



## 2 主な質問や発言（凡例 ☆：参加者からの発言 ⇒：事務局より説明）

- ⇒（学校規模の適正化に向けた検討事例について、事務局から再度説明しました。）
- ☆ 所属団体で話をしたところ、全員が完全に納得したわけではありませんが、統合もやむを得ないという意見が有力でした。悲しい気持ちもありますが、時代の流れかと思えます。
  - ☆ 統合時期を早めに決め、具体的に準備を進めることで、子どもたちにも早めに新しい環境に慣れてもらうのが良いのではないかと意見が大半でした。
  - ☆ 統合に関する噂は昔からありました。統合すると通学路が変わりますが、見守りを徹底すれば問題ないのではないかと考えます。
  - ☆ 通学区域の調整では適正規模にならないため、統合するのが良いと思います。阿久和小学校の児童は中学生になるといずみ野中学校に通うことになるため、小学校の段階からいずみ野小学校の児童と友達になるのは良いことだと思います。
  - ☆ 自分の地域の意見を聞いた中では、統合を前提としている方が多いように感じました。通学安全上の対策や、両校の交流に向けた準備をしていくことが重要だと思います。
  - ☆ コロナ禍において小規模校の良さも出てきていると思いますが、早く方向性を決めてほしいという意見が多いです。
  - ☆ 小規模校にはメリットもデメリットもあると思いますが、統合するのであれば早く決めてほしいです。
  - ☆ 検討事例1～4の中では統合が最も現実的だと思います。しかし、以前事務局から「経費節減のために統合が必要というわけではない」と聞いたため、8月には市長選挙もありますし、今回方針を決定する必要はないと思います。
  - ☆ 考え方が保護者にあまり浸透していないように思います。個人的には統合するのが良いのではないかとありますが、納得されていない保護者が多いようです。
  - ☆ 所属団体で話した中では、統合するのが良いのではないかと話になりました。しかし、行政区をまたいだ統合となってしまうことや、統合校のPTA活動を協力してやることができるかどうかということを懸念する意見もありました。
  - ☆ コロナ禍でのソーシャルディスタンスを考えると小規模校のメリットも多いですが、集団活動をするうえでは厳しい面もあります。職員も少ないため負担が多いです。また、児童と教師の距離が近い分、中学校に上がった際のギャップが大きいということも心配しています。統合については昔から噂があるため、時期を気にする声が多くあります。今後の見通しが早く分かるとありがたいです。
  - ☆ もしも両校が統合した場合は、お互いに新しい友達ができるという面で、生きる力が育まれると思います。統合するのであれば、早めに時期が決まると良いと思っています。また、どちらの校舎を使用するとしても、児童数に合わせた環境整備をしていただきたいです。
- ⇒ 他の地域でも、統合した場合の児童数の増加に合わせた施設整備は行っております。
- ☆ いずみ野中学校には主に新橋小学校、いずみ野小学校、阿久和小学校から子どもたちが進学してきます。どの地域にも魅力的な歴史や文化があり、その中で育ってきた生徒たちは多様な考え方を持っているため、何か新しいことが生まれてくるのではないかと非常に感じます。
  - ☆ 現在の阿久和小学校の児童数は非常に少ないと思います。小規模校には良い点もたくさんあるのだと思いますが、子どもたちはやはり色々な人と交流できる環境で勉強したほうが良いと思います。統合ありきではなく、ニュートラルに話し合うことが必要ですが、子どもたちのことを第一に考えて結論を出すべきだと思います。

- ☆ 子どもたちが切磋琢磨するためには、ある程度の人数が必要だと思えます。阿久和団地に若い方々を呼び込むという方法もあり得るかもしれませんが、一挙に子どもが増えるとは考えにくいです。新しい棟が建つという計画もありますが、子どもが増えるという期待はあまりできないと思えます。
- ☆ 皆様の意見を聞いていると、統合もやむを得ないとの意見が多いですが、いかがでしょうか。
- ☆ 保護者への説明が足りないと思っています。ニュースの配付だけではなく、何か情報を伝達する手段として事務局で考えていることはありますか。
- ⇒ 第1回部会の開催前に両校で保護者説明会を実施させていただきました。他の地域では、部会で意見がまとまった後に再度説明会を実施した事例もあります。ご要望があれば説明会を再び実施することは可能ですが、現時点で再び説明会を実施したとしても、統合するかどうかや統合する場合の時期について何も決まっていない状況であるため、保護者の方の意見も分かれてしまうと思えます。
- ☆ 阿久和小学校に関しては、原小学校との統合や通学区域調整、いずみ野小学校との統合について昔から様々な噂が飛び交っています。状況を正しく理解してもらうために、市がきちんと説明するべきだと思います。
- ☆ 保護者の意見があまり反映されていないように感じます。部会を開催する前に、もう少し保護者の話を聞いても良かったのではないのでしょうか。
- ⇒ 校長先生とも相談しながら、保護者の方々に情報を伝える方法を検討します。また、先ほどの議論の中で、統合する場合の時期などについて具体的なことが知りたいといったご意見がありましたので、次回の部会では仮に統合する場合の統合時期や通学区域案、使用校舎についてお示ししたうえで、方向性について引き続き議論していただくというのが良いと思えます。
- ☆ 統合ありきで、いずみ野小学校の校舎を残す前提で話が進んでいるような気がしています。統合するのであればその方向で早く決めていただきたいです。
- ☆ 阿久和小の関係者としては、現在の小規模のままでは良くないという考えですか。
- ☆ そのように思うことはありますが、コロナ禍でもできることが多いため現状のままでも良いのではないのかとの意見も多いです。
- ☆ 子どもたちが今のままでも良いと思っているのであれば、無理に統合しなくても良いのではないのでしょうか。
- ☆ 私は統合に反対したいです。高齢化している阿久和団地から子どもたちの声が消えてしまうというのはやはり寂しい気持ちがあります。子どもたちは学校が変わってもすぐに慣れるのかもしれませんが、悩ましいところです。
- ☆ 事務局からの提案どおり、次回も引き続き検討ということでいかがでしょうか。
- ☆ 反対意見がないため、次回も引き続き検討することとします。

### 3 第2回検討部会までの間に寄せられた意見

- ・いずみ野小学校は立地も良いため、是非残してほしいです。

### 4 第2回検討部会までの間に寄せられた質問（⇒ 事務局回答）

- ・距離が近く、行政区が同じ原小学校のほうが検討の相手校として適しているのではないのでしょうか。
- ⇒ 中学校の通学区域や生活圏、通学安全等を考慮し、相手校はいずみ野小学校としました。
- ・仮に阿久和小学校といずみ野小学校が統合することとなった場合、どちらの校舎を使用するのでしょうか。
- ⇒ 使用校舎については、部会の中で議論していただきます。
- ・部会の委員はどのような構成なのでしょう。
- ⇒ 地域代表・保護者代表・学校長に委員となっていただいております。

#### ◆第3回検討部会について ※会議は非公開とすることを決定しました。

- ・日時：令和3年9月14日（火）18時30分から  
（延期等の場合は下記ホームページにてお知らせいたします。）
- ・会場：いずみ野中学校 2階 被服室      ・検討内容：通学区域と学校規模適正化等

#### ◆「阿久和小学校・いずみ野小学校」通学区域と学校規模適正化等検討部会の経過等について

部会の会議案内や会議録、ニュースについては、ホームページからご覧いただけます。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/sesaku/tekiseika/shokibo/akuwaizumino.html>



#### ◆事務局（お問い合わせ先）

皆さまからのご意見やご質問を受け付けております。Eメール、電話またはFAXでお寄せ下さい。



横浜市教育委員会事務局学校計画課

Eメール：ky-seya2020@city.yokohama.jp      TEL：045-671-3252      FAX：045-651-1417